

2010 Kumamoto
S.J.C.D.
inservice training
seminar



茂野 啓示 先生

- ・SJC.D.国際ナショナル常任理事
- ・東京S.J.C.D.顧問
- ・熊本S.J.C.D.顧問
- ・京都大学再生医科学研究所講師
- ・新潟大学歯学部非常勤講師
- ・米国歯周病学会会員

再考、順序立てた治療計画の立案

Part 1 ...咬合調整の実際

我々の日常臨床において、全ての診療科目に必須である基本治療は、「炎症の抑制」、及び歯に対する負担加重の除去、すなわち「咬合の制御一力のコントロール」である。歯科治療においてはこの二つの基本治療を行うことにより、原因除去療法が達成される。

「炎症の抑制」に関しては治療結果を得ることはたやすいが、「咬合の制御一力のコントロール」に関しては、少なくとも顎関節及び周囲組織が何らかの顎位に関する改変に対し、適応するためには約6～8週の経過が必要となり、長期の観察が必要となる。このことがいわゆる「咬合の問題」を難しくしているところでもある。

さらに我々が最も高頻度で行う「咬合の制御」とは咬合調整といえる。この咬合調整に関しては、1950年代、米国において総義歯学から発展してきた咬合調整法を基礎とし、近代咬合学の父と称されたDr. Schylerにより天然歯の咬合調整法はほぼ完成さ

れた。その後様々な咬合学派の出現により、咬合調整法が日本にも紹介されてきたが、表現方法が違うだけで、基本的な術式に関しては、Dr. Schylerの行っていた咬合調整法となら隔たりはないのではないかと考える。先年、桑田正博先生と出版させていただいた「実践咬合調整テクニック」の中で紹介した咬合調整法は、Dr. Schylerとともに桑田先生が全米で咬合調整の実習コースを開催していたときと変わらない術式を桑田先生とともに再現したものである。また、足かけ約二年の期間をかけ、咬合調整を行った症例に対し、渡邊教授に科学的な咬合接触点の解析を行ってもらっている。

今回、これらの事柄に対し、本文では表現し辛い点を踏まえ、詳しく解説したいと思う。

熊本SJC.D.会員はもとより、会員ではない先生方、歯科技工士、歯科衛生士の皆様にぜひとも積極的にご参加いただけますようご案内申し上げます。

講師：茂野 啓示 先生

日時：2010年1月31日(日)

09:30～16:00

会場：熊本県歯科医師会館ホール

費用：歯科医師8,000円/その他5,000円

(熊本SJC.D.会員は5,000円/3,000円)

申込：熊本S.J.C.D.事務局

熊本市小峯1丁目1-95

096-331-0567(fax331-0577)

taka@ourdent.com

定員：100名

(ご入金順。お振込をもって
申込とさせていただきます。)



オフィス名	区分	DR	他	連絡先	合計額
	会員			代表者名	円
	一般	人	人	〒 住所 電話 fax e-mail	振込先 肥後銀行佐土原支店 普通145126 熊本SJC.D事務局 粟津貴昭

FAX 096-331-0577

できるだけお早めにお申し込みください